



# いおぎ だより

杉並区立井荻小学校

平成25年3月1日発行

No.536

## 見える成長・見えない成長



校長 梅津 典子

学年度末の3月は、子供たちにとって、修了式、卒業式と1学年を締めくくる月となります。

子供たちが、学校での授業を始め、学校生活や社会生活で得た知識（学力）は、秤で計量するとどれくらいの量になるのでしょうか。もちろん、心と頭と体に積み重ねられていく知識は計量することはできませんが、1年間で学ぶ学習内容と、学校行事や社会生活などでの体験が、子供たちの成長に大きく関与していることは申し上げるまでもありません。

子供の成長には、私たちに見えるものと見えないものがあります。見える一番分かりやすいものは、「身長・体重」の伸びです。1年間でこれほどまでに成長したかとびっくりすることがあります。一方、物事に対する考えや心の豊かさは、すぐには分かりませんが、子供の言動や行動を通して感じる必要があります。

学校でも、見えない成長を感じるころがありました。杉並区では、毎年3年生から6年生の意識調査を行っています。学習面や生活面での様々な項目について調査をしています。その中でうれしかったのは、地域に関する項目と社会に関する項目です。

- 地域 ・今住んでいる地域の行事に参加している。 67. 3ポイント  
(区平均より10. 8ポイント高い)
- ・今住んでいる地域や自然に関心がある。 69. 7ポイント  
(区平均より7. 7ポイント高い)
- 社会 ・学校や社会のために進んでボランティア活動をしている。 36. 1ポイント  
(区平均より2. 8ポイント高い)

・社会で問題になっていることについて、自分の考えをもっている。

69. 2ポイント

(区平均より7. 1ポイント高い)

もちろん、地域の項目については、地域や保護者の皆様、学校支援本部のご協力があるのですが、自分の住んでいる地域に関心を持ち、行事に進んで参加し、地域にかかわっているということは、学校ではなかなか見えにくい成長です。これらの資質は、今後も地域を支え、地域の発展を担う人間として大変重要であると思います。

また、ボランティア活動についての項目は、3年生から徐々にポイントが増え、6年生だけでは43. 4ポイントと区の平均を14ポイントも上回っています。これは、井荻小学校の伝統である善福寺川への活動を通して育ってきたものと考えます。

ご家庭では調査などしなくても普段の行動や態度から感じ取られることが多いと思います。見えない成長は見逃してしまいがちです。ぜひ、見える成長と見えない成長を見つけていただきたいと思います。

### 重要！＜緊急連絡メール一斉配信のお知らせ＞

3月11日午前11時に「杉並区自主参加型一斉防災訓練(シェイクアウト訓練)」が行われます。本校の3月避難訓練もこの時間に合わせて行います。防災訓練実施に伴い、「事前周知」の配信を3月1日(金)12時頃、「当日の配信」を3月11日(月)10時20分頃の2回にわたり、緊急連絡メールが一斉配信されます。

## 《1組》 ～もうすぐ卒業～

・私がこの6年間で心に残ったのは、富士学園移動教室です。高座山の登山は大変だったけど、班で協力して登れた時の喜びが忘れられません。

・ぼくが、井荻小学校の生活で一番心に残っているのは、移動教室の高座山です。登るのが大変なのに、友達荷物をもってあげている人を見て、協力の大切さをあらためて学びました。

・ぼくは、富士学園移動教室が心に残っています。理由は、協力し助け合った移動教室だったからです。高座山では助け合い、忍野八海では協力し合うことができました。

・ぼくは移動教室が思い出に残っています。それは、高座山で声をかけ合い、みんなが登れたからです。協力すれば何でもできると学びました。

・ぼくは、6年間で一番、友達という日常が心に残っています。友達と過ごす何気ない時間がとても楽しいです。これからも友達を大切にしたいです。

・ぼくが小学校生活で一番心に残っている思い出は、移動教室です。富士山の5合目にバスで行き、雲が足の下にあったことは、今でも覚えています。

・ぼくが心に残ったことは、富士学園での山登りです。「がんばれ」などの言葉が聞こえたからです。そこから、仲間の大切さが分かりました。

・私が一番心に残っているのは移動教室での、夜寝る時間です。興奮しているけど次の日のために早く寝なくちゃ…あの時間がすごく楽しかったです。

・私は、組体操の3段タワーが心に残っています。何度も失敗したけれど、あきらめずに練習したら成功したことから、どんなことでもあきらめずに続けることが大切だと学びました。

・私は、富士学園が心に残っています。自分勝手な性格だった私は、富士学園で、皆のことを考えて行動することの大切さを学びました。

・私は、運動会の組体操で、倒立からサボテンの技がなかなかできませんでした。でも、あきらめずに練習し、本番では成功しました。あきらめないことは大切だと思いました。

・私が井荻小生活で一番心に残っていることは、6年生の音楽会です。なぜなら、自分から進んでやること、努力すること、団結することのすばらしさを学んだからです。

・ぼくが6年間で一番心に残っているのは、運動会で応援団長をやったことです。ぼくがその中で学んだことは、「がんばればできる」ということです。無理だと思うこともがんばっていきたいです。

・ぼくが心に残っているのは組体操です。組体操は、心をついにしないと完成しません。ぼくは組体操で、団結力や協力心など、それまで自分にあまりなかったものを学ぶことができました。

・ぼくが一番心に残っていることは給食です。毎日おいしい給食を食べられることは、とてもすばらしいことだと思います。これからもおいしい給食を作ってください。

・ぼくは、4年生のころまで、野球で打てなくてチームの足を引っばっていました。しかし、毎日練習をしたことで、活躍できるようになりました。この体験から、努力の大切さを学びました。

・私の、6年間で一番の思い出は移動教室です。学校では体験できないほうとう作りなどができたからです。友達と過ごした3日間は、とても楽しかったです。

・ぼくは運動会の組体操が心に残っています。運動会の組体操では、逆立ちから肩車ができなくて、練習が大変でした。けれど、本番に成功したことで、努力することの大切さを学びました。

・私が6年間で一番心に残ったことは、組体操のピラミッドです。「みんなの心が一つになると成功する」ということを実感しました。

・ぼくは井荻小学校の生活で、1年生との交流が心に残っています。大変な時もあったけど、仲良くいっしょに遊んでいる時の笑顔は天使のようです。そこから、一生懸命やることの大切さを学びました。

・ぼくは井荻小の組体操で、チームワークの大切さを学びました。友達に助けってもらって逆立ちが何とかできるようになりました。中学でも学んだことを大切にしたいです。

・私が6年間で心に残っていることは、運動会の組体操です。技はとても難しかったけれど、みんなで協力して一生懸命がんばることは大切だと分かりました。

・ぼくは理科の実験をがんばりました。特に、科学館でやった川の実験が心に残っています。中学校でも理科をがんばりたいです。

・心に残っていることは組体操のタワーです。がんばって練習したので本番でも成功しました。努力は自分を裏切らないと学びました。

・ぼくが6年間で心に残ったことは、連合運動会です。高跳びのとき、みんなが応援してくれたので、がんばれました。友達の声でここまでがんばることができるんだと学びました。

・ぼくが小学校生活で一番心に残っているのは5年生の学芸会です。なぜなら、おじいさんの役の声をリアルに出すのが難しかったからです。

・ぼくが6年間の学校生活で一番心に残っているのは、最後の組体操です。練習はつらかったけど、成功した時の達成感は忘れられません。

・ぼくは音楽会で努力の楽しさを知りました。努力することは大変でも、努力した後の、自分の成長を感じる瞬間が本当に気持ちよかったです。これからも努力を大切にしようと思いました。

## 《2組》

・私が6年間で学んだことは、我慢です。この6年間で2回、山に登りましたが、とてもつらかったです。でも、その分、登りきったときの達成感がありました。頑張ったらその分、いいことがあると学びました。

・ぼくが成長したと感じたのは、移動教室での班活動です。高座山に登るときに、活動班の仲間と声をかけあったり、荷物を持ちたりして、協力することを学びました。

・私の一番の思い出は、1年生のお世話をしたことです。1年生は、いつも元気に話しかけてくれてとても嬉しく、こちらまで元気になりました。だから、私もみんなを元気にできる人になりたいです。

・ぼくは、たくさんいる仲の良い友達を、そして、そのような友達をもつ自分を誇りに思います。これからも、友達を大切にしていきたいです。

・ぼくは、6年間があったという間に終わった感じがします。昼休みに友達とサッカーをしたことが一番の思い出です。小学校生活はとても楽しかったです。

・私が、6年間通して学んだことは、人と協力して物事を進めていった方がよいということです。いおぎまつりで、このことを学びました。これからの日常に生かしていきたいです。

・ぼくの6年間の思い出は、富士学園移動教室です。苦しい山登りを最後まで登りきったことです。これからも、何事もあきらめない気持ちでがんばりたいです。

・私が、小学校6年間で学んだことは、あきらめずに努力することです。そう思ったのは、できなかったダンスのふりつけも何度も練習したらできるようになったからです。

・ぼくが、6年間の中で成長した事は、友達と仲良くできるようになったことです。小さいことを気にしなくなったらけんかが少なくなりました。毎日、楽しく過ごすことができました。

・私の思い出は、移動教室です。移動教室では協力することを学びました。また、高座山登山で疲れて帰ってきた後の遊びは、とても楽しい思い出になりました。

・ぼくが6年間で学んだことは、友達がいれば何でも楽しいということです。それは、井荻小に転校してきて、最初は心細かったけど、話しかけてくれた人がいたのをきっかけに、2年間とても楽しく生活できたからです。

・ぼくは、6年間バスケットをがんばってきました。そして、努力をすれば、うまくなるということを学びました。中学生になってもバスケットを続けてもっとうまくなりたいです。

・運動会の組体操で学んだことは、一人ではできないことも、みんなで心をひとつにすれば大きなものができるということです。ピラミッドが完成したとき、がんばってよかったと思いました。

・ぼくが、6年間で学んだことは、助け合うということです。友達や家族は、ぼくが失敗しても「ドンマイ」など温かい言葉をかけてくれました。だから、

ぼくも困っている人を助けていきたいです。

・ぼくが、6年間で学んだことは、友達の大切さです。中学生になっても友達を大切にしていきたいです。

・私の一番の思い出は、移動教室です。親のいない環境の中で、仲間と助け合って過ごしたからです。中学校に行っても、仲間と助け合いながら、たくさん成長していきたいです。

・ぼくは今、6年生で行っている川の清掃活動を5年生に引き継いでほしいです。善福寺川が、この学校の自慢なので、その川が汚れていると自慢できないからです。

・ぼくが6年間でがんばったことは、自ら進んで発言することです。そこから学んだことは、発言すると授業が楽しくなるということです。これからも続けていきたいと思います。

・私の思い出は、音楽会などのたくさんの行事です。行事をすることによって、みんなと協力することの大切さを学びました。これからもみんなと協力してがんばってきたいです。

・ぼくが6年間で学んだことは、あいさつの大切さです。朝、登校してくるとき、警備員の方があいさつをしてくれて、気持ちがよかったからです。中学校へ行ってもあいさつをしっかりしたいと思います。

・私は、井荻小で続けてほしいことは、川の清掃活動です。井荻小は、私にとって3校目ですが、川が流れている学校は初めてでした。井荻小独自の川の活動を続けて、全国でもめずらしい、川のある学校を大切にしてほしいです。

・ぼくは、6年間、サッカーをがんばってきました。4年生のコパトレーロスの大会で、優秀選手賞をとったことが嬉しかったです。

・ぼくが6年間でがんばったことは、計算のミスを少なくすることです。筆算をしてミスをなくすようにしました。これからも正確にできるように気をつけていきたいです。

・私の6年間の思い出は、富士学園です。集団で行動することによって、時間を大切に使えるようになりました。これからも、時間を大切に使いたいです。

・ぼくが一番の思い出は、中瀬杯で優勝したことです。今まで、一回も優勝したことがありませんでしたが、最後の大会で初めて優勝できて嬉しかったです。

・私は、運動会の組体操で協力することの大切さを学びました。二人技の肩車は、二人の息を合わせないとできないので何度も練習して成功しました。嬉しかったです。

・ぼくが、一番がんばった事はサッカーです。ぼくは、チームでMVPを取ったときに嬉しかったです。毎回休まないで一所懸命プレーしてきてよかったです。

# 3月行事予定

1	金	
2	土	地区班長会 サイエンスキッズ 区民センターまつり
3	日	区民センターまつり
4	月	委員会活動 いおぎ丸全体会
5	火	保護者会（低）
6	水	6年生を送る会 読み聞かせ
7	木	保護者会（高） 絵本作家講演会
8	金	保護者会（中） 安全指導
9	土	チャレンジキッズ(いも煮会・ダイキャンプ)
10	日	ざりまるコンサート
11	月	避難訓練 5年生中学校体験学習（荻窪中）お話し会
12	火	PTA 総会 15：45～
13	水	
14	木	感謝集会 お別れ会食会（6年）
15	金	パン販売（5年）
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	春分の日
21	木	給食終了・大掃除 卒業式前日準備（5年生以外 13：45 下校）
22	金	修了式 卒業式予行練習
23	土	
24	日	
25	月	卒業式
26	火	春季休業日始
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	



## 3月の生活目標

### 「感謝の気持ちを伝えよう」

生活指導部 栗原 慎太郎

「相手に対する感謝の気持ちを言葉で表しましょう。」と聞かれたら、ほとんどの人は「ありがとう」と答えるのではないのでしょうか。

ありがとうのもともとの意味は、「<sup>あ</sup>有ることが<sup>かた</sup>難い＝人の好意（親切）などに対して、めったにないことと感謝する」からきています。

相手に、やってもらってよかったと思うことに対して「ありがとう」と言い、感謝の気持ちを表す。→言われた人の心を温かくする。→他の場面でも相手の役に立とうとする。→その場面を見ていた人が、それを見て、自分もやってみようとする……。

「ありがとう」には、よいことを伝え、広げる力があると私は考えます。相手に対する感謝の気持ちがあれば、相手に対する尊敬の気持ちや自分自身に対する謙虚な気持ちも育っていくのではないのでしょうか。

いよいよ3学期の最後の月です。3月は1年間のまとめの月、新学年の準備の月でもあります。

1年間お世話になった教室、机・椅子、自分の持ち物にも感謝の気持ちを持ち、きれいにして次に引き継ぎたいと思います。また、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝え、思いを込め、1年間の締めくくりをしたいと思います。

### お知らせ……

交通指導員の盛山 義之さんが、退任されました。長年にわたり、子供たちの安全を見守っていただきました。毎日笑顔で話しかけてくれました。本当に、ありがとうございました。

新しく、寺西 裕さんが着任されました。よろしくお願いいたします。

## 6年生を送る会

特活部

お世話になった6年生に感謝をこめて、1・2年生が似顔絵を描きました。照れくさそうにモデルをする6年生。どの子もよく顔を見て一生懸命描きました。この絵は送る会や卒業式に飾られます。今年度も3月6日に、全校児童による『6年生を送る会』が体育館にて行われます。これまで学校全体のために活動してくれた6年生に感謝の気持ちをこめて、ゲームや合唱・合奏で楽しいひとときを過ごそうと準備を進めています。また、在校生が色々な場面でともに過ごした6年生のことを思い、呼びかけの言葉をプレゼントとして贈ります。当日の装飾も、1・2年生の描く6年生の似顔絵など、学年ごとに分担して準備をします。これらの企画・運営を、中心となって進めるのは5年生です。送る会は、児童会の引き継ぎの会でもあるのです。どの学年にとっても、心に残る会になることを願っています。